

漂着ごみの調査

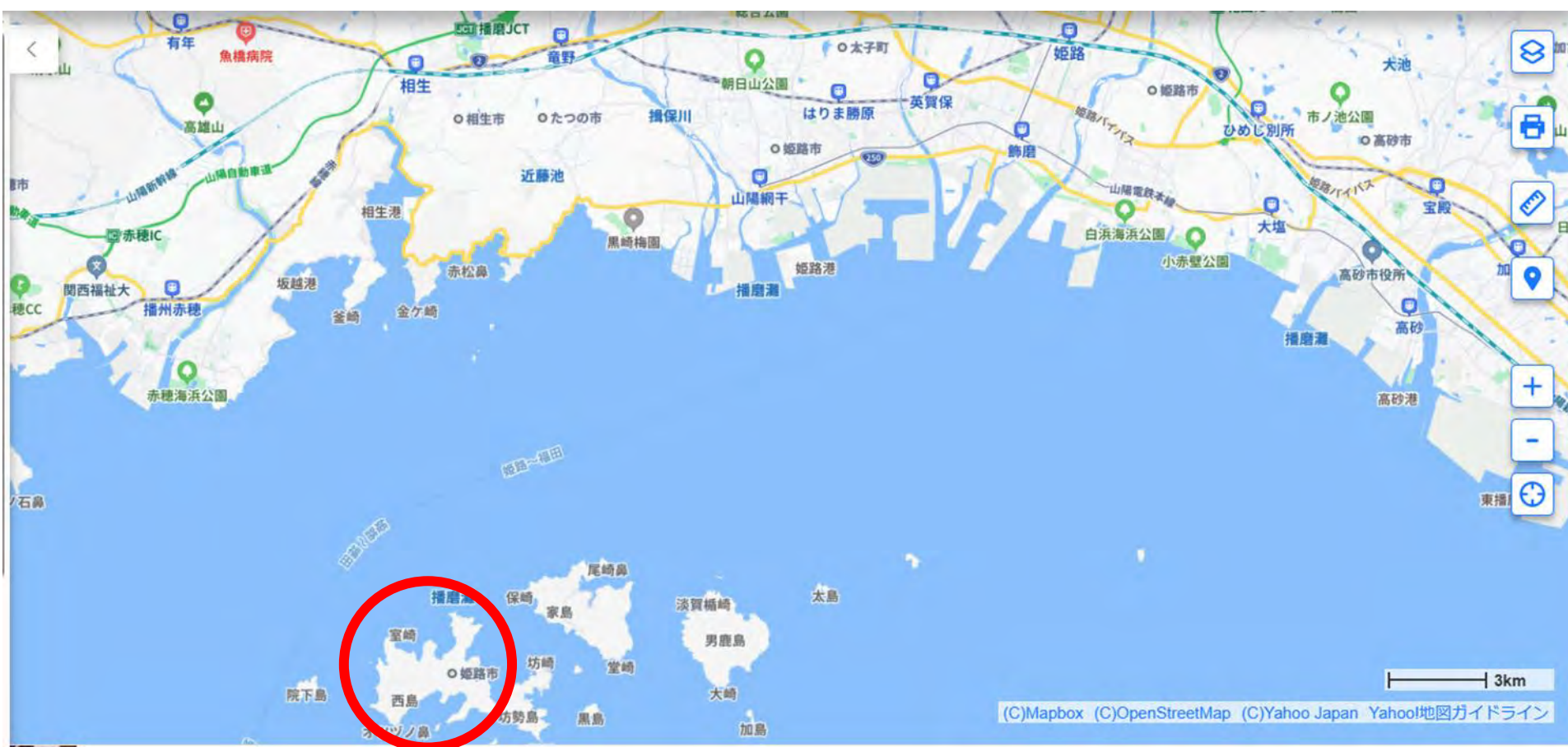
滝川第二中学校2年2・3組

荒井美玖 岩井大輝 岩佐虎明 上田夕渚 越智柚葉 北野夢 小寺澤沙織 米田花菜 柴田さくら 谷有都 塚北康太郎 椿幸樹 藤後結衣 中嶋優理 丹羽たまき 原田大暉 春名雛実
福岡叶果 村尾花穂 森岡奈々 矢野求真 山内結生 山本芽依 八本光莉 渡辺遥麻 朝田大智 石井咲良 井上紗良 猪股実礼 岡那々子 岡田実咲希 小川颯土 陰山葉月 蒲優月
佐藤杏凜 志野木克己 辻生美侑 寺島史佳 唐仁原愛菜 鳥居泉麗 西内悠希 濱ノ園紗希 藤林枇愛 藤原萌杏 細見悠真 正木誠也 山田絢菜 鷺尾陸 渡辺こころ

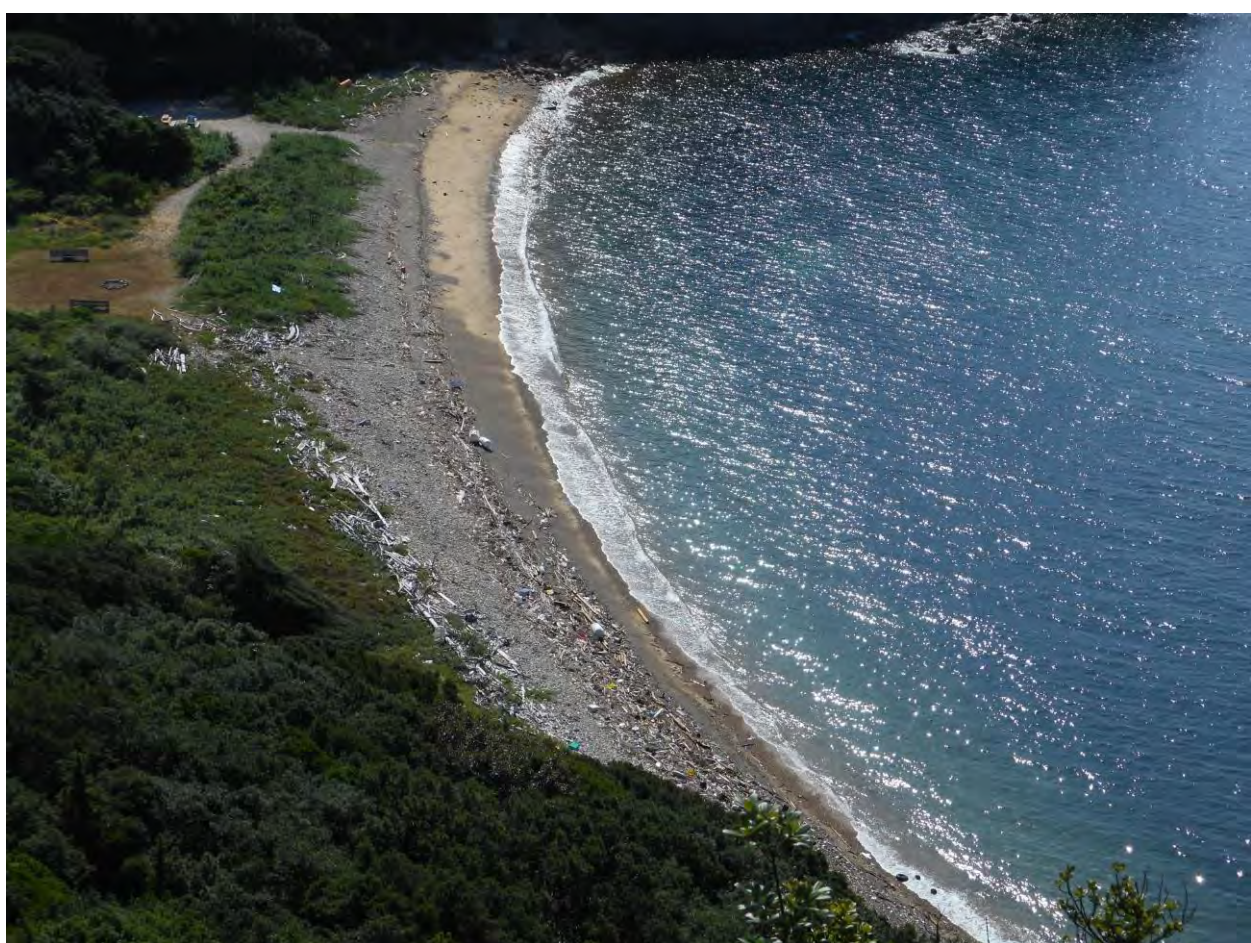
動機 昨年度のサイエンスツアーの際に、海岸に漂着したごみが多かった
ので、今年度はごみの調査をプログラムに入れることにした。

調査した日 2023年8月2日

調査場所 家島諸島西島 いえしま自然体験センターから歩いて30分の
海岸



姫路港から船で約40分



調査した海岸



ごみの様子

調査方法 約1時間、ごみを拾い集め、日かげに運んで分類し、調査
カード (JEAN (Japan Environment Action Network) のカード) に数量を記入した。



集めたごみは自然体験センターの規約に従って、処分しやすいように分けた。



ごみを拾った後

集めたごみ

分類したごみ

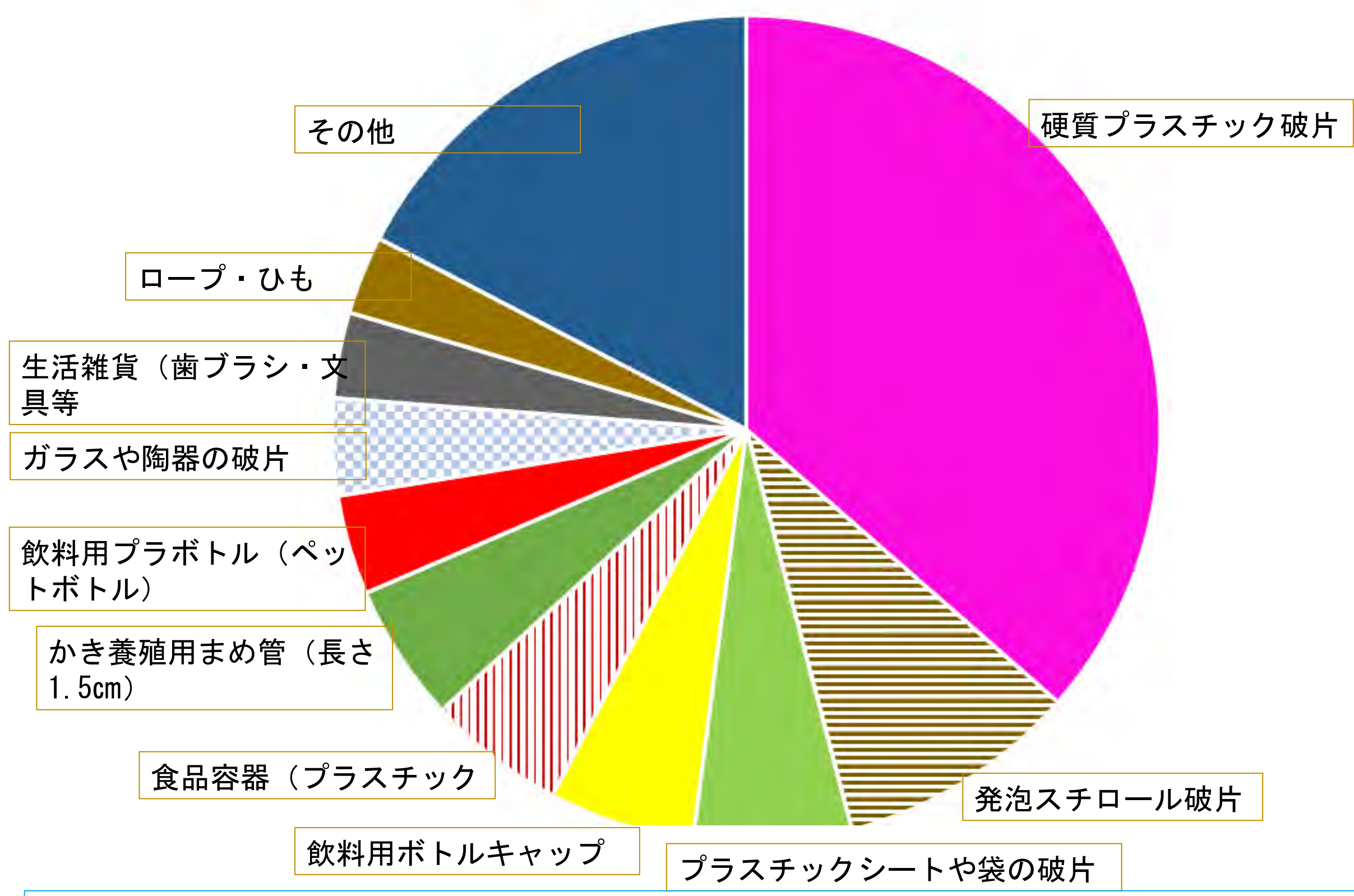
表 分類別ごみの数量 データカードをまとめた

分担したものを分類した後、残ったごみをまた分担したので同じ名前が複数回でてくる。

ごみ調査・データカードまとめ	岩佐	北野山内八本村尾	山内	小川	矢野	岡	矢野小川谷	上田鳥居柴田辻生	山田	藤林	石井	岡田	朝田細見	志野木細見	朝田塚北	寺島	渡辺こ	越智猪股	陰山丹羽	岩井	蒲小寺澤	小川矢野谷	西内	塚北朝田	鳥居佐藤	福崎藤後	原田	中嶋濱ノ園	上田柴田辻生	渡辺森岡荒井山本米田春名	合計		
破片	20	96	97	196	37	35	0	82	3	2	0	0	0	61	24	29	1	102	0	11	0	21	0	52	1	0	4	0	0	188	6	1068	
タバコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲料	1	5	5	5	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	2	0	0	0	6	1	8	1	3	8	6	5	0	17	17	1	19	114	
食品	1	3	3	3	0	0	6	0	5	1	5	5	0	16	0	4	1	0	1	2	1	0	0	0	4	7	0	2	2	4	5	81	
生活	4	1	1	1	0	0	2	10	0	1	6	0	0	3	2	0	1	0	1	3	0	10	1	3	3	3	14	3	3	1	6	83	
大型	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	9	
物流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
建築	0	2	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	1	0	1	10	10	0	1	38	
医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
釣り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
水産	6	12	3	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	12	0	1	1	0	3	2	3	0	0	15	7	3	5	1	1	7	3	90	
	158	229	166	295	86	83	22	185	18	17	47	30	4	9	221	40	112	11	105	51	44	43	71	30	157	101	51	56	90	84	336	95	3047

品名	数量 (個)	割合 (%)
1 硬質プラスチック破片	1068	36.5
2 発泡スチロール破片	277	9.5
3 プラスチックシートや袋の破片	181	6.2
4 飲料用ボトルキャップ (プラスチック)	167	5.7
5 食品容器 (プラスチック)	158	5.4
6 カキ養殖用まめ管 (長さ1.5cm)	158	5.4
7 飲料用プラボトル (ペットボトル)	114	3.9
8 ガラスや陶器の破片	111	3.8
9 生活雑貨 (歯ブラシ・文具等)	98	3.4
10 ロープ・ひも	90	3.1
おもちゃ (ボール・フィギュア等)	83	2.8
食品の包装・袋	81	2.8
紙袋	48	1.6
飲料用ボトルキャップ (金属)	41	1.4
その他プラスチックボトル	38	1.3
建築資材 (柱・釘・トタン板等)	38	1.3
飲料缶	36	1.2
食品容器 (発泡スチロール)	34	1.2
その他のプラスチック袋	29	1.0
プラスチック・発泡スチロール梱包材	28	1.0
レジ袋	26	0.9
カップ・皿 (プラスチック)	23	0.8
かご漁具	22	0.8
飲料ガラスびん	20	0.7
ふた (プラスチック)	19	0.6
使い捨てライター	17	0.6
発泡スチロール製フロート	13	0.4
6/バックホルダー	12	0.4
カップ・皿 (紙)	10	0.3
家電製品	9	0.3
ストロー・マドラー	8	0.3
プラスチック製フロート・ブイ	8	0.3
注射器	7	0.2
ルアー (エギ・ワーム)	4	0.1
荷造り用ストラップバンド	3	0.1
漁網	3	0.1
カップ・皿 (発泡スチロール)	2	0.1
タイヤ	2	0.1
タバコの吸い殻・フィルター	0	0.0
タバコの吸い殻・フィルターパッケージ・包装	0	0.0
フォーク・ナイフ・スプーン	0	0.0
風船	0	0.0
花火	0	0.0
釣り糸	0	0
カキ養殖用パイプ (長さ10-20cm)	0	0
	3086	

ごみの内訳(西島)



プラスチック由来のごみが多い。プラスチックがそれだけ生産・利用されている。プラスチックは海水に沈まず漂着しやすい。

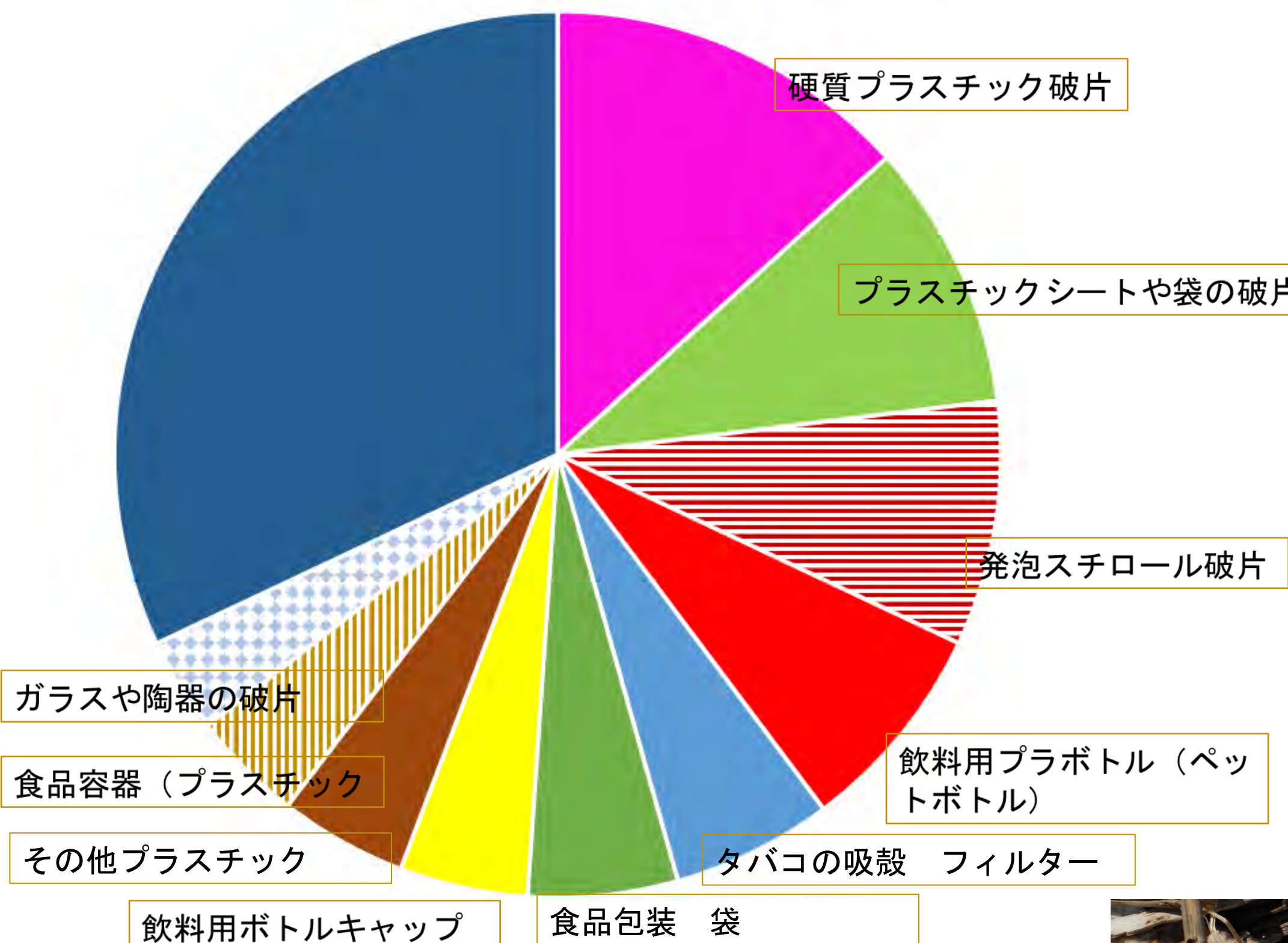
分類できなかったごみ…農業用カップ、木炭
 外国から流れ着いたようなごみは見当たらなかった。
 瀬戸内海だからか、コロナで物流が減っているのか。
 国内に輸入してからごみになったらしいものはあった。→



他で行われた調査との比較(2018年)

東京・神奈川・山形など、146会場、6570人で調査したもの。

International Coastal Cleanup 2018でのごみの内訳



上位10品目のうち、7品目が共通している。
 どちらもプラスチック由来のごみが多い。
 西島は生活圏から離れているのでプラスチックが破片になっているものが多い。漁業ごみのかき養殖パイプがある。ICCP2018では、その場で落としたタバコの吸殻・フィルターが目立った。



かき養殖パイプ



漁業用フロート



海水より重いゴルフボールが流れ着いたのが謎



金属で流れ着くのは海水に浮かぶ缶

感想・意見

プラスチックが圧倒的に多かった。特にペットボトルカキのまめ管が多かったと思う。おいしくカキを食べる裏には海の汚染があることを実感した。

プラスチックが多かった。大きいものが小さくなったと考える。ペットボトルはやわらかくなっていた。

茶色いびんの破片が砂で磨かれて、かどが丸くなり、きれいな宝石みたいになっていた。思わず集めてしまったがこういうのも海を汚染するごみというのか。

謝辞 ごみ袋の用意や、ごみを軽トラックで運んでいただいた、自然体験センターの一宮さんのお名前を記して謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。